

🌷 切り花用3月咲きチューリップの栽培マニュアル

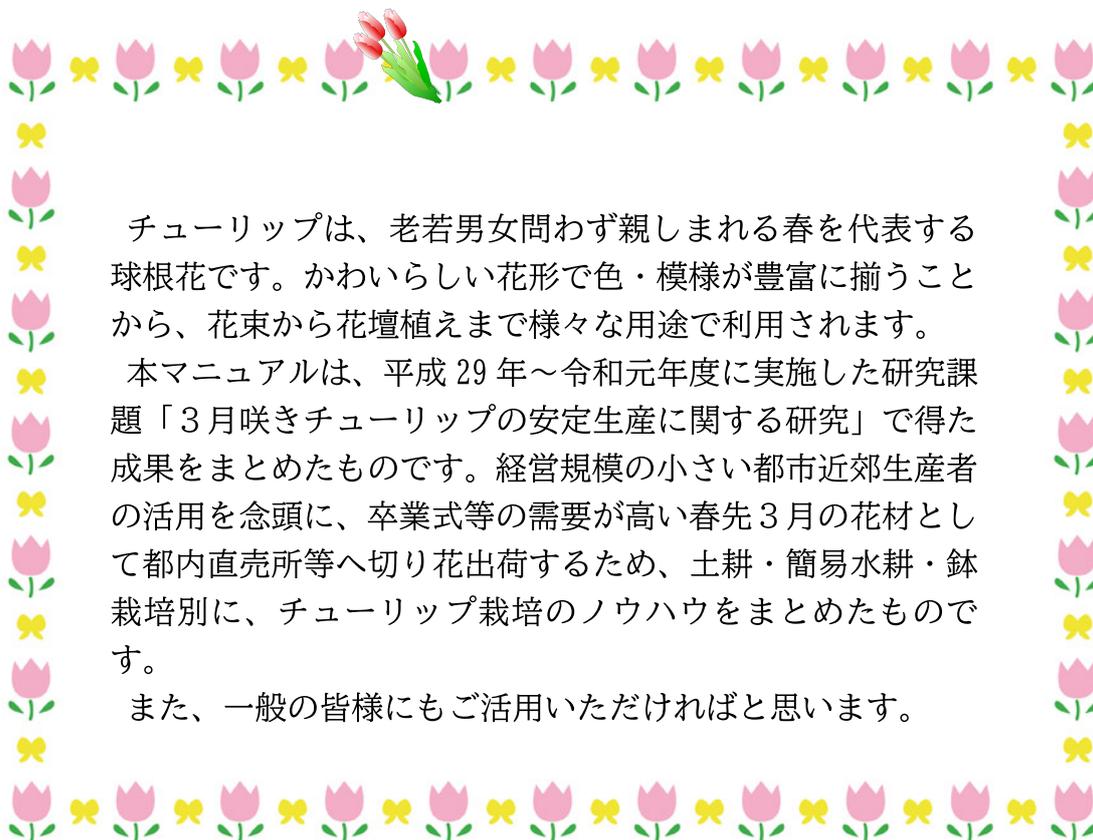


令和2年8月

東京都農林総合研究センター 江戸川分場



## はじめに



チューリップは、老若男女問わず親しまれる春を代表する球根花です。かわいらしい花形で色・模様が豊富に揃うことから、花束から花壇植えまで様々な用途で利用されます。

本マニュアルは、平成29年～令和元年度に実施した研究課題「3月咲きチューリップの安定生産に関する研究」で得た成果をまとめたものです。経営規模の小さい都市近郊生産者の活用を念頭に、卒業式等の需要が高い春先3月の花材として都内直売所等へ切り花出荷するため、土耕・簡易水耕・鉢栽培別に、チューリップ栽培のノウハウをまとめたものです。

また、一般の皆様にもご活用いただければと思います。



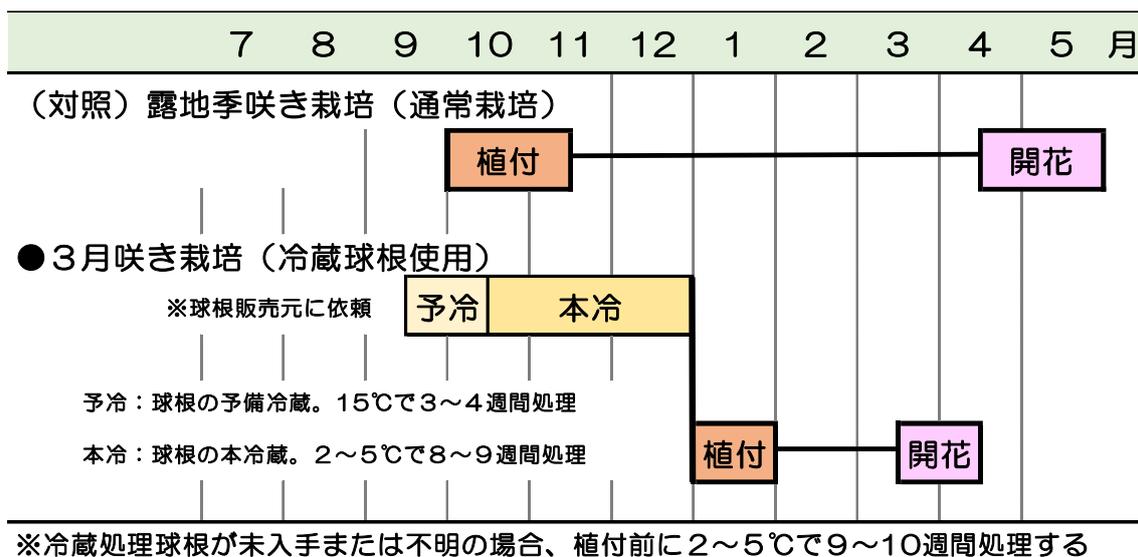
## 目次

1 切り花用3月咲きチューリップの基本的な作型	2 ページ
2 切り花用3月咲きチューリップ品種の特性表	3 ページ
切り花用3月咲きチューリップ品種の写真	4～5 ページ
3 栽培の手引き	
3-1 土耕栽培	6 ページ
3-2 簡易水耕栽培	7 ページ
3-3 鉢栽培	9 ページ
4 収穫と調整方法	10 ページ
5 チューリップの病害虫対策	11 ページ





## 1 切り花用3月咲きチューリップの基本的な作型



- ↓学名： *Tulipa gesneriana* L.
- ↓分類：ユリ科チューリップ属
- ↓原産地：地中海沿岸および中央アジア
- ↓花芽形成期：6月下旬～8月上中旬
- ↓栽培適温：15～20℃



## 2 切り花用3月咲きチューリップ品種の特性表

品種名	花色	花型			到花日数 <sup>a</sup>	切り花長 <sup>b</sup>
		一重咲き	八重咲き	ユリ咲き		
1 プリティウーマン Pretty Woman	赤			●	64	中
2 イルデフランス Ile de France	赤	●			70	長
3 リンファンダマーク Leen van der Mark	赤黄	●			56	中
4 メリーウィドー Merry Widow	赤白	●			61	中
5 クリスマスドリーム Christmas Dream	桃	●			61	中
6 アンジェリケ Angelique	桃		●		65	中
7 レディーマーゴット Lady Margot	黄	●			58	中
8 ストロングゴールド Strong Gold	黄	●			71	長
9 オレンジクイーン Orange Queen	橙	●			56	長
10 バレリーナ Ballerina	橙			●	60	中
11 ホワイトフラッグ White Flag	白	●			65	長
12 パープルフラッグ Purple Flag	紫	●			59	長

2016～2018年調べ、球周11cmを使用、無加温ハウス栽培（地床）

a) 到花日数： 栽培開始から開花までの日数。高温条件下では短縮されます。

b) 切り花長： 長：40cm以上 中：30～40cm



切り花用3月咲きチューリップ品種(1)



プリティウーマン



イルデフランス



リンファンダマーク



メリーウィドー



クリスマスドリーム



アンジェリケ

切り花用3月咲きチューリップ品種(2)



レディマーゴット



ストロングゴールド



オレンジクイーン



バレリーナ



ホワイトフラッグ



パープルフラッグ



### 3 栽培の手引き

#### 3-1 土耕栽培



##### ① あらかじめ準備しておくこと

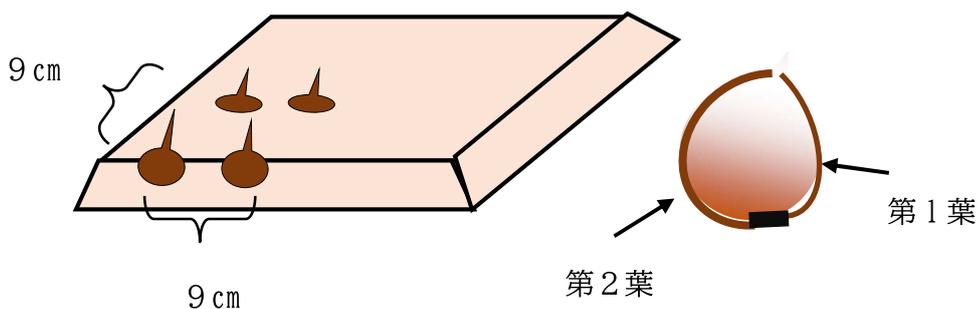
施設（パイプハウス・ガラス温室・フレーム内）の地床で栽培する場合、12月下旬までに、1アールあたり石灰2キログラム、窒素・リン酸・加里の各成分0.5キログラムを目安に全面散布しましょう。堆肥を多めに施して、なるべく深く耕すこともポイントです。

チューリップは、球根に含まれる栄養分で基本的な生育・開花が左右されます。また、根は茎葉に先んじて生育し、一度発生した根は分枝したり、改めて発生することがないため、初期の発生根を大切にすることが重要です。このため、礫（れき）が少なく水はけのよい土壌づくりを心がけ、肥料の過剰施用に注意しましょう。



##### ② 植え付け

1月上旬に、球根の1/3程度を地表に出し、株間・条間を各9cmで植えます。球根の表皮を剥ぎ、向きを揃えて植え付けると葉が重なりません。



##### ③ 管理方法

植え付け後、2週間程度で球根の先端から葉・花・花茎（シュート）が出芽しますが、シュートの伸長に先んじて根が生育を始めます。品種によっては発根に伴って球根が地表面より浮き上がるため、球根を腐葉土で覆うことも良策です。日中の温度は、最高気温が25℃を超えないように換気しましょう。低温には強く、凍っても生存しますが、傷みが生じない程度の温度で管理しましょう。

灌水は、地表面が乾燥したらたっぷり与えます。

### 3-2 簡易水耕栽培



#### ① あらかじめ準備しておくこと

水耕キットとして、市販の7.5cmポット用トレイ（SS-40型、京和グリーン株式会社製 520×330×65mm など）と、球根支持体としてヤシ殻繊維（ココ繊維ロールなど、25×3cm 厚さ1cm）、そして水受け用アンダートレイとしてガーデンパレット600型（大和プラスチック株式会社製 610×405×35mm）または農業用栽培槽（ハイポニカH-6型、協和株式会社製 1808×650×70mm）を用意します。各資材とも、汚れのないものを使用しましょう。

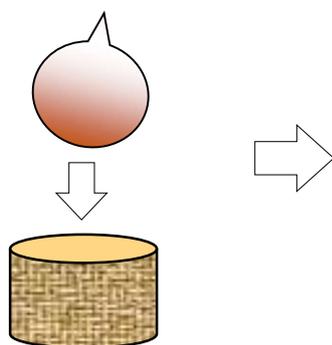
ポット用トレイは、2枚重ねることによって球根底部に隙間を確保できるため、発根の妨げになることを防ぎます。

水耕キットを、エキスパンドメタルを敷いたベンチ上に設置すれば、水平が確保できて、貯めた水の不均一を防ぎます。



#### ② 植え付け

1月上旬、球根をヤシ殻繊維に包み、ポット用トレイの枠内に、セットします。球根底部がポット用トレイの底部と密着するように差し込みます。球根の表皮を剥ぎ、向きを揃えて植え付けると葉が重なりません。



球根の周囲をヤシ殻繊維で包む



鉢トレイを2枚重ね、ヤシ柄繊維に包んだ球根を鉢枠に差し込む。



水耕栽培による根の発根状況



出荷適期の様子



### ③ 管理方法

本栽培装置は湛液式（たんえきしき）で、毎日培養液を交換することはありませんが、毎週1回の頻度で培養液を全交換します。根長1cm（植え付け後約2週間）に育つまでは、水道水のみで給水管理します。

発根後は、薄い液肥（窒素成分30～60ppm程度）で湛液管理します（例；大塚A処方1/8濃度、「液肥（10-10-10）」2,000倍希釈液など）。給液は水道水を追加補充し、給液量は、湛液時水位が球根の底が十分浸る程度（ガーデンパレット600型の使用で約5リットル、ハイポニカH-6型の使用で約35リットル）を目安とします。茎葉が繁茂する生育後半には、減水分を所定の培養液で補給しましょう。

培養液補充時のワンポイントとして、ガーデンパレットでは浴槽の給水ホースを利用したり、ハイポニカH-6型では給水詮にホースを繋いで、給排水労力を省くことができます。なお、生育期間中のアンダートレイの汚れは、こまめに洗浄しましょう。

球根は、植え付け後約1ヵ月で草丈10cm程に生育します。この時に、シュートが真上になるよう球根の向きを調整しましょう。

発蕾後の生育は早く、高温条件下ほど収穫開始までの日数が短縮されますが、軟弱・徒長による品質低下を抑えるため、日中25℃以下を目安に管理しましょう。チューリップは寒さには強く、トレイ内の湛液が凍っても耐えることができます。

### 大塚A処方 1/8 培養液のつくりかた

- ① 水道水 100L に対し、「OATハウス1号肥料」18.8gを徐々に加え、よく攪拌させて溶かす。
- ② ①液が十分溶けたところへ、「OATハウス2号肥料」12.5gを少量ずつ加えよく溶かす。



### 3-3 鉢栽培

#### ① あらかじめ準備しておくこと

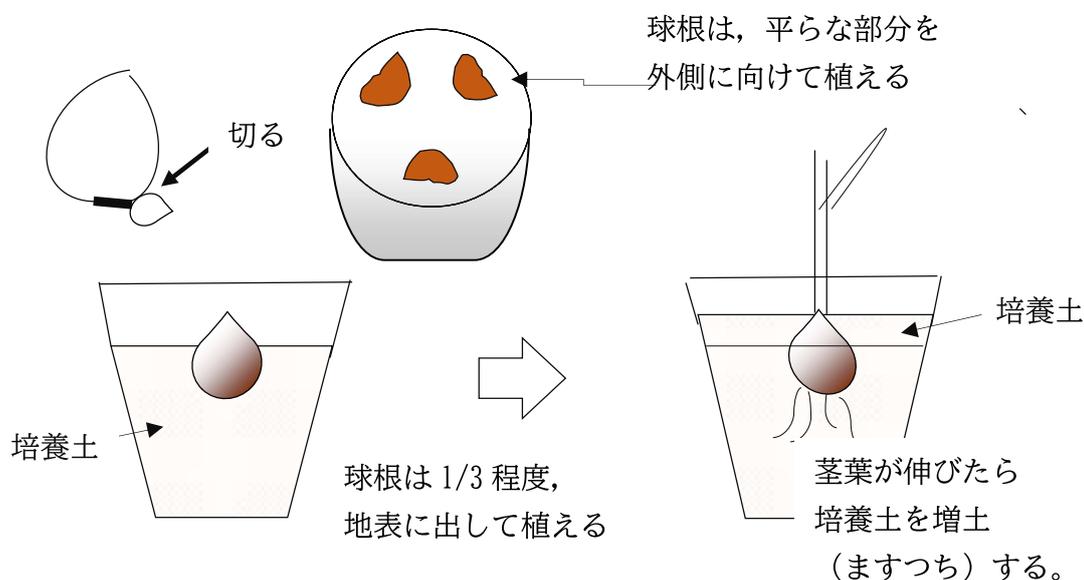
栽培容器は5号（径 15cm）プラ鉢が適当です。鉢用土は、砂質壤土が最適ですが、赤玉（細粒）：腐葉土：ピートモスを容積割合比5：3：2で混和した培養土でも良いでしょう。基肥は、特に培養土として赤土を混和した場合には、緩効性肥料などを少量混用しましょう。（例・5号鉢あたり「エコロング413・70日タイプ」1g、「マグアンプK（N-P-K-Mg=6-40-6-15）中粒」2g）。

チューリップは、基本的に母球に含まれる栄養分で生育開花しますが、施肥効果は葉色に表れます。根は障がいを受けると再生しないため、過剰施肥に注意します。



#### ② 植え付け

5号鉢栽培では、球根3球を用品です。球根の表皮を取り除き、1/3程度を地表に出して植え、培土で球根を覆います。分球は、切り取って植え付けましょう。





### ③ 管理方法

栽培場所：

栽培する場所は、無加温パイプハウス内が適当ですが、北西の風を受けない東向きの軒下でも良いでしょう。パイプハウスなどの施設栽培では、高温による軟弱・徒長を抑えるため、室温が25℃以上にならないよう換気を行います。

灌水の頻度：

基本的に毎日1回、早朝にたっぷり灌水します。

追肥：

生育後半に、緩効性肥料などを少量与えます。(例・「IB化成S1号」を鉢あたり3～4粒程度)

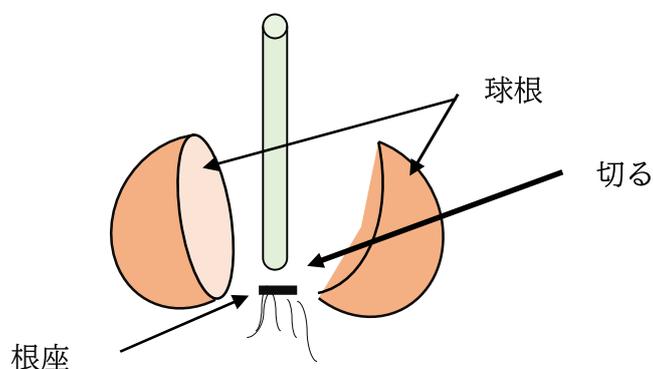


## 4 収穫と調整方法

切り花を収穫するタイミングは、蕾が発色を始めた頃が最適です。収穫は、球根ごと掘り上げましょう。十分な切り花長が得られない場合は、球根をハサミや包丁を使って割り、根座の上部から茎を切ることでより長い規格の切り花が得られます。

1本の切り花でも、ラッピングすることで十分な可販品になります。

注意：球根の切り口から出る液は、アレルギー物質を含むため、人によっては皮膚に炎症を起こします。ゴム手袋着用等の注意をしましょう。





## 5 チューリップの病害虫対策

葉腐病、灰色かび病、球根腐敗病、アブラムシなどの発生が見られます。必要に応じて、次の方法に従って防除しましょう（令和2年度 東京都病害虫防除基準から抜粋）。

- 葉腐病**
- ・発病のおそれのある所では次の薬剤のいずれかを処理し、土壌混和する。
 

フロンサイド粉剤	植え付け前	30～40 kg/10 a
リゾレックス粉剤	植え付け時	10～20 kg/10 a

 病原菌は低温性のリゾクトニア菌である。
- 灰色かび病**
- ・室内、フレーム内はできるだけ湿度を低く保つ。
  - ・発病前から次の薬剤のいずれかで防除する。
 

フロンサイド水和剤	2000～4000 倍
ラビライト水和剤	500～800 倍
- 球根腐敗病**
- ・次の薬剤のいずれかで土壌消毒する。
 

ガスタード微粒剤*	
バスアミド微粒剤*	

 いずれも 20～30 kg/10 a \*花き類・観葉植物での登録
  - ・植え付け前に次の薬剤のいずれかで球根消毒する。
 

フロンサイド水和剤	100～200 倍希釈液に 15 分浸漬
ベンレート水和剤	20 倍希釈液に瞬間浸漬 (植え付け前のみ適用)
	100～500 倍希釈液に 15～20 分浸漬
	球根重の 0.1～0.2% 粉衣
- アブラムシ類**
- ・発生初期に次の薬剤などを散布する。
 

オルトラン粒剤（株元施用）*	花き類・観葉植物での登録 3～6kg/10a
ウララ 50D F	1000 倍